



起業プロジェクト通信

～妹背牛町PRに向けて～

妹背牛商業高等学校
Moseushi Commercial HighSchool

— 最終号 —
平成21年1月19日発行

課題研究発表会を終えて



班名	発表タイトル	概要
米 班	「米にも愛情・地球にも愛情 たっぷり愛情をこめたECOな米作り」	手作業を多く取り入れた米作りは、CO ₂ 削減につながった。
米 粉 班	「妹背牛町の米消費拡大のために」	米粉を使ったパン・クッキーを考案。
ハ ー ブ 班	「HEALLING×THYME～癒しのタイム～」	ハーブキャンドル作りの内容を発表。
販売促進班	1. 販売コンセプトが適切であったかを考える。 2. 各課への販売提案などを行い販売促進効果を考える。 3. お米の購入者へのアンケート・追加調査の実施。	コンセプトである本校ならではの商品作りに貢献できた。アンケート結果からお客様には喜んでもらうことができた。
経 理 班	「起業するにあたって～労務費を加えた原価計算～」	23人で起業する場合、コストがかかりすぎて、経営は困難である。
広 報 班	「お米のネット販売」におけるホームページPR効果について考える	HPを見てくださったお客様からはPR効果があったと考えられる。
生 物 班	「目の造りと色の違いについて ～自分の体について知ろう～」	自分達の持つ疑問について考察・調査・実験し、多くの疑問を解決。
高大連携班	「おもちゃと発達」	幼児の年齢別の発達と年齢にあうおもちゃを提案。

最優秀賞は、経理班「起業するにあたって～労務費を加えた原価計算～」、優秀賞は、高大連携班「おもちゃと発達」でした。高大連携班は、年齢にあったおもちゃを提案し、発表時、実際に披露し、観客を楽しませてくれました。その他の班も、立派な発表であり、1年間のよいまとめとなりました。

活動について～まとめ～

思い出してみよう！

●起業プロジェクトの目標●

- ・ 模擬会社の経営体験を通して、起業・経営の楽しさと大変さ、責任の重要性を学ぼう。
- ・ これまでお世話になった地元妹背牛町のPRを行う目的のもと、様々な取り組みを通し自主性や創造性を身に付けよう。

通信の第1号で、各部長から、次のような具体的な目標がありました。

- <製造部> 去年の経験を活かせるところは徹底的に活かし、今年ならではのすばらしい商品を開発しましょう。
- <営業部> 製造部門でできた商品を思いっきり宣伝し、チームワークを保ちながら進めていこう。
- <総務部> 経費にかかわる部分はしっかり計画していこう。

みなさんのチームワークにより、全6商品を開発・販売できました。それらの商品の開発、宣伝、販売することを通し、お客様に喜んでもらう大変さ、楽しさを実感できたのではないのでしょうか。また、各担当者の話を伝達したり、仕事を最後までやり遂げたりするなど、仕事を進める上で、重要なことが何であるのか学ぶことができたのではないのでしょうか。これらの経験を活かし、卒業後も様々なことに挑戦してほしいです。**業務おつかれさまでした。**